

# 避難のタイミング

## 津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、 ただちに高台など安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。 
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、 より高い場所を目指して避難しましょう!	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。 
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	高さ0.2~0.3m程度の津波でも人は流れに巻き込まれる。 

## 津波避難の3原則

揺れを感じたり、津波情報を聞いても、なかなか避難に踏み切れないものです。以下の津波避難の3原則を実行して、津波から命を守りましょう。

### 想定にとらわれない

想定はあくまで自然現象を予測するシナリオのひとつであり、ほかにもあらゆる可能性があることを理解すること。

### 最善を尽くす

どのような状況になるか予測できない災害時にできることは、その状況のなかで最善の対応行動をとること。

### 率先避難者たれ

いざというときには、まず自分が率先して避難することで、その姿を見て、ほかの人も避難するようになり、結果的に多くの人を救うことができること。

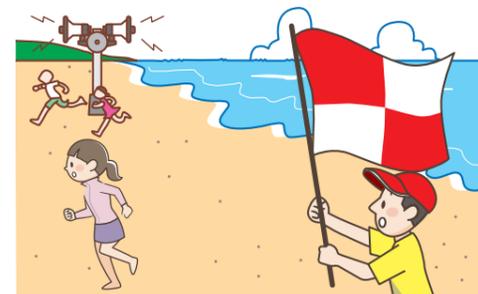


# 避難のポイント

## 避難するときに気をつけること、津波の特性

### ! 水辺からすぐに離れる

津波注意報であっても水辺は危険。ただちに海岸や川べりから離れる。



### ! 津波の速度は速い

津波の速度は非常に早く、目に見えてから逃げるのでは間に合わない。



### ! 避難したら戻らない

到達予想時刻が過ぎたり、第一波が引いたとしても、津波警報・注意報が解除されて、安全が確認されるまでは避難を継続する。



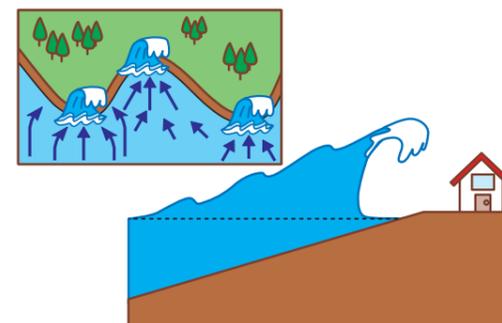
### ! 津波は何度も来る

津波は一度だけでなく複数回襲来し、後から来る津波の方が高くなることもある。



### ! 津波は場所により高くなる

津波は沿岸に近づき水深が浅くなるほど、急激に高くなる。また、V字型の湾や岬の先端など、地形の影響で局所的に高くなる。



### ! 津波は遠くからも来る

津波は遠方の地震等によって発生することもある。日本近海の地震によるものではない津波警報・注意報にも注意する。

